

CONTENTS

特集 世界を先導する リサーチ・ ユニバーシティへ

Part 1 目的・体制
研究力強化の推進力となる
TMDU-URA室

Part 2 8つの制度改革
Part 3 研究環境の整備

医療研究★最新線「未来医療を拓く」——14

バイオメカニクス分野 川嶋健嗣 教授
生体防御学分野 樗木俊聡 教授

新設◎教育課程 ——18

大学院共同教育課程
大学院保健衛生学研究科
共同災害看護学専攻

附属病院◎診療科訪問 ——19

歯学部附属病院
快眠歯科(いびき・無呼吸)外来

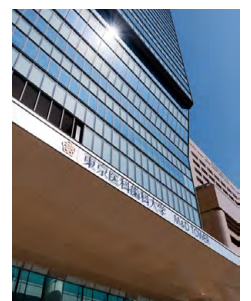
卒業生の今「活躍する医科歯科人」——20

マサチューセッツ総合病院
麻酔科レジデント
前田 歩氏

医科歯科大生File ——21

「自ら問い、自ら導く学生たち」
医学部医学科6年 村瀬芳樹さん

Campus Information ——22



今号の表紙

M&Dタワー前にあった旧3号館の跡地は駐車場建設の工事が進んでいます。屋上(写真の手前側)は緑ある遊歩道として整備されます。学内各所には様々な案内標も設置されており、今まで以上に多くの人が行き交うキャンパスになるでしょう。

本学の今後の研究推進計画

東京医科歯科大学学長 大山喬史

今年度、本学は文部科学省「研究大学強化促進事業」に採択されました。この事業は、世界的レベルから見ても十分優れた研究活動が期待できる大学を選択し、その研究力を増強することを目的とした支援事業です。

本学は、採択された全国19の大学、3つの研究機関の1つとして、しかもその中でトップグループの支援内容で助成を受けます。

10年間で30億円の支援を受けられることとなり、本学の将来に大きな発展という夢を描けるようになりました。もちろん一方では、社会の期待にしっかりと

応えなければならない大きな責任を負ったことはいまでもありません。

本事業では、2つの取り組みを推進することが条件付けられています。

1つは、ユニバーシティ・リサーチ・アドミニストレーター(URA)組織を構築し、研究力強化のためのPDCAサイクルを機能的に回すことです。

そのためには、研究マネジメント人材の雇用や育成、そしてそれを

定着させることが必要で、これは本学にとっては新たな取り組みとなります。

もう1つは、ガバナンス改革です。本学は医療系大学として、

医療の安全と安心、そして社会の安定と安心というキーワードに対応するため、教育、研究、医療において、さらなるガバナンスの強化を図る必要があります。

そのためには、過去十数年間における大学と産業界の関係、

そして現在の産学連携を検証し、この間の社会の大きな変革を的確に把握し、大学としても、的確、堅実でしかも斬新な対応を講じてゆかなければなりません。

さらに、学長の強いリーダーシップの下、若手研究者の育成、

シームレスな研究体制の構築、新たな研究領域の創設、研究環境の整備などに向けた大学資源の思い切った重点配分などを行ってゆくことが求められます。

本学では、これまでも研究活動の強化策として、

幾多の取り組みを行ってきました。

まずは、本学の研究の強みと特色を見定め、その強化を図ることです。

そこで、先端研究を加速する基盤的・臨床的研究支援共同施設として、

疾患バイオリソースセンターと再生医療研究センターの新設・整備、

動物実験施設の一元管理と大規模改修を行ってきました。

また、若手育成のための大学院改革として、大学院組織の有機統合を行い、

国立研究センターなどの研究機関との連携大学院協定を締結しました。

来年度には、学際生命科学東京コンソーシアムによる共通コースの開設、

保健衛生学研究科の改組などを予定しております。

一方、学内情報の共有の徹底、本学の知名度向上のために、

新たに広報部を設置・拡充し、効果的な活動を展開しております。

これに加えて、優秀な人材を確保するために、

ワーキング・シェアなどのシステムを構築しました。

また、人事の流動性を高めるために、テニユアトラック制度を導入しております。

さらに4年前、国際戦略の重点項目の1つとして、チリ、ガーナ、タイの3カ国に

海外研究拠点を立ち上げ、国際共同研究においても大きな成果を上げてきました。

今では、現地および近隣諸国からの強い要請に応え、

それら海外研究拠点に、若手研究者の養成を目指した大学院コース

(ジョイント・ディグリー)を開設すべく始動しております。

本学が、「研究大学強化促進事業」に採択されましたことは、

本学全教職員のこれまでの努力が報われたものであり、

大学としても、心より感謝と敬意を表すとともに、

今後も、日々是、堅忍不拔の奮励を期待しております。

「You can do it!」といわれたのですから、その答えは

「We can do it!」以外あり得ません。

お茶の水門からバリアフリーで医学部・歯学部両附属病院に続くスロープも整備され、毎日多くの人が利用しています。左に曲がるとM&Dタワーの2階にもそのままアクセスできます。